

聴講時の注意

- (1) 携帯電話はマナーモードにしていただくか、電源をお切りください。
- (2) 私語はお控えください。
- (3) 講話中の撮影及び録音につきましてはスタッフにお尋ねください。
- (4) ご気分が悪くなった際は、スタッフまでお声がけください。
- (5) 講話の内容は語り部のみなさんの経験等に基づくものです。



ご利用案内

講話時間 (1日4回)

- ① 10:00～10:40
 - ② 11:15～11:55
 - ③ 13:15～13:55
 - ④ 14:30～15:10
- QRコード
題名および日程はこちら



場所

2F ワークショップスペース(赤色部分)



- ・ 入館券が必要です。
- ・ 座席数は27席で先着順です。お席のご予約は受け付けておりません。
- ・ 団体での聴講は研修語り部をご利用ください。
- ・ やむをえない事情により、内容の変更や中止、録画した講話映像の上演となることがあります。

お問い合わせ先

〒979-1401

福島県双葉郡双葉町大字中野字高田39

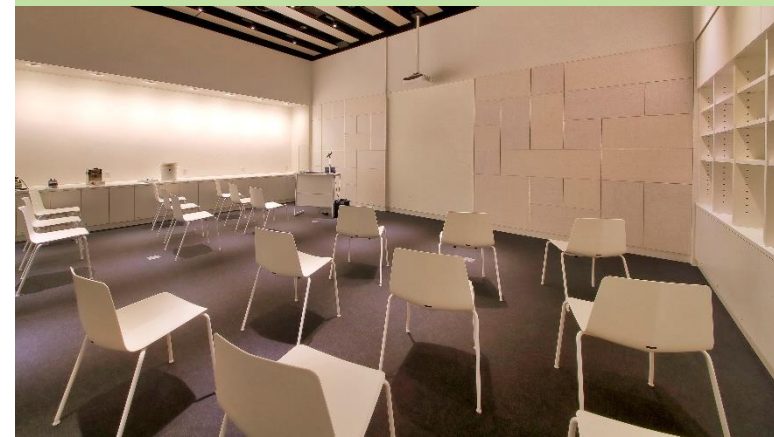
東日本大震災・原子力災害伝承館

☎ (0240) 23-4402

✉ archive@fipo.or.jp

館内語り部講話

東日本大震災・原子力災害伝承館



かたべ 語り部について

2011年3月11日午後2時46分。
それまで当たり前のように過ごしていた日常が一変しました。マグニチュード9.0、最大震度7(福島県内は最大6強)の地震が発生し、大津波により広域の沿岸部に甚大な被害が生じました。

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う原子力災害では、最大で16万人を超える住民が避難し、今も数多くの方が避難生活を余儀なくされています。

県内の犠牲者は4,000人を超え、このうち避難生活での体調の変化や過労などの間接的な原因で亡くなる「震災関連死」は2,000人以上に上ります。福島、岩手、宮城の被災3県で突出して多い数となっており、私たちが経験した複合災害の過酷さを物語っています。

当館には、被災体験を語り継ぐ「語り部」が多く在籍しており、それぞれの体験や思いを語ります。

語る内容は被災した場所や年代によって異なり、震災当日の話や長引く避難生活、防災意識、伝統文化の存続などさまざまです。

語り部自身が経験したことを語る言葉には、その人の思いが込められています。語り部の生の声を聴くことで、震災を自分事として考え、防災や減災に向けた行動につなげるきっかけとなれば幸いです。

東日本大震災発生からの1ヶ月間

2011.3.11

- 14:46 東北地方太平洋沖地震 (M9.0) 発生。最大震度7 (福島県では最大で震度6強) を観測。
- 15:37頃 津波の第2波が福島第一原子力発電所に到達 (最大14m)。
- 21:23 第一原発から半径3km圏内の住民に避難指示、3~10km圏内に屋内退避を指示。

2011.3.12

- 05:44 避難範囲を拡大し、半径10km以内の住民に対する避難を指示。
- 15:36 第一原発1号機の原子炉建屋が水素爆発。
- 18:25 第一原発に対する避難指示区域を10km圏内から20km圏内に拡大。

2011.3.14

- 11:01 第一原発3号機の原子炉建屋が水素爆発。

2011.3.15

- 06:12頃 第一原発4号機の原子炉建屋が水素爆発。原因は、3号機で生じた水素ガスが非常用ガス処理系の配管を通して4号機に流れ込んだことによるもの。
- 11:00 第一原発から半径20~30km圏内の居住者に屋内退避指示。

2011.4.22

政府、20km圏外の一部に「計画的避難区域」を設け、1ヵ月程度で住民を避難させると発表。累積線量が年間20mSvに達すると予想される地域が対象。また、それを除く20~30km圏内を、これまでの「屋内退避指示」から「緊急時避難準備区域」に切り替えると発表。

(原発災害避難年表に追記)



東日本大震災・
原子力災害伝承館

東京電力福島第一
原子力発電所

東京電力福島第二
原子力発電所